

一級河川 碓氷川（安中工区） 河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げして 流せる水の量を増やします

地元の声

- ・近年の豪雨で今後堤防から水があふれてしまうのではと心配です。(地元区長)
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 安中市板鼻～中宿
- 事業内容: 築堤1,300m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現況流下能力: 約630m³/s
- 計画流量 : 1,900～2,000m³/s

事業前

- ◆ 堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。

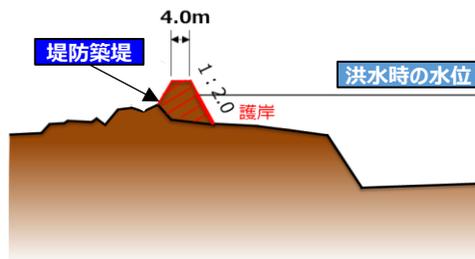
令和元年台風19号



事業前の状況

事業後

- ◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。

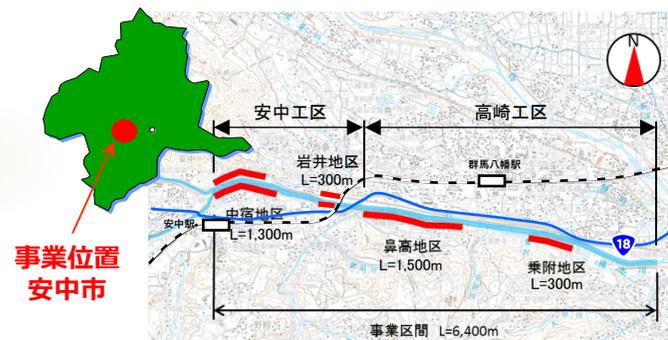


事業後のイメージ

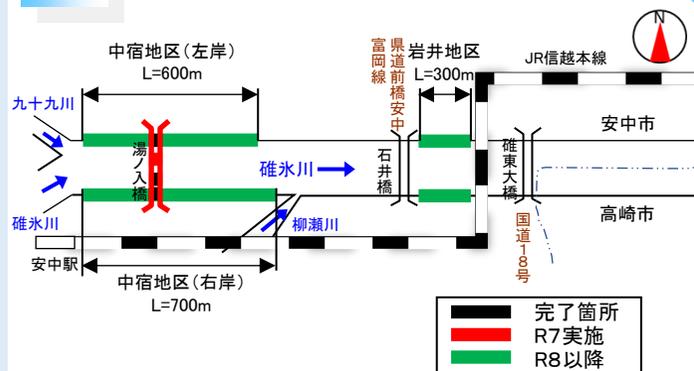
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	478ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	3,286戸

実施後(目標)
0ha
0戸

※碓氷川河川改修事業高崎工区及び安中工区の実施後による効果



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き堤防予定地の用地取得及び、湯ノ入橋下部工・上部工の工事を実施します。



堤防予定地

事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了